

## 突哨山運営協議会 2018年度 第3回協議会

2018年12月5日(水) 18:00～ 自由軒

出席者 出羽寛 黒川博義 舟橋健 桐一郎 澤田勇 工藤稔 寺島一男  
森木邦男 佐藤仁親 工藤和彦  
旭川市土木部公園みどり課 村形友和係長 矢萩正朋  
以上 個人10名 団体1名

事務局 山本牧 中村直人

### 1. 報告事項

---

#### ①作業報告(主催・共催)

※主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- 9月25日 突哨山現地検討会
- 9月26日 近文第二小学校3、4年生突哨山活動 葉っぱから考える樹木(もりねっと)
- 10月 3日 近文第二小学校1、2年生突哨山活動 葉っぱから考える樹木(もりねっと)
- 10月 4日 近文第二小学校5、6年生突哨山活動 間伐体験(もりねっと)
- 10月12日 遊歩道草刈り(もりねっと)
- 10月15日 遊歩道草刈り(もりねっと)
- 10月22日 カタクリ広場草刈り(突哨山と身近な自然を考える会)
- 11月 3日 芋煮会(突哨山と身近な自然を考える会)
- 11月12日 森林再生観察路、遊歩道整備(もりねっと)
- 11月26日 ヒグマ足跡調査(土木部、環境部、比布町、協議会、もりねっと)
- 12月 3日 ヒグマ足跡調査(もりねっと)

澤田 9月29日にびびの路の草刈りを桐さんと二人で実施しました。

②主な活動写真



9月25日 突哨山現地検討会



9月26日 近文第二小学校3、4年生 突哨山活動



10月3日 近文第二小学校1、2年生 突哨山活動



10月4日 近文第二小学校5、6年生 突哨山活動



10月12、15日 遊歩道草刈り



10月22日 カタクリ広場草刈り



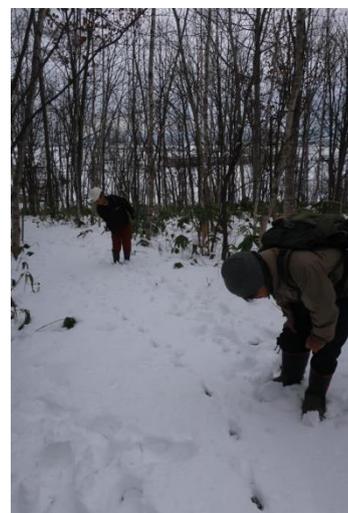
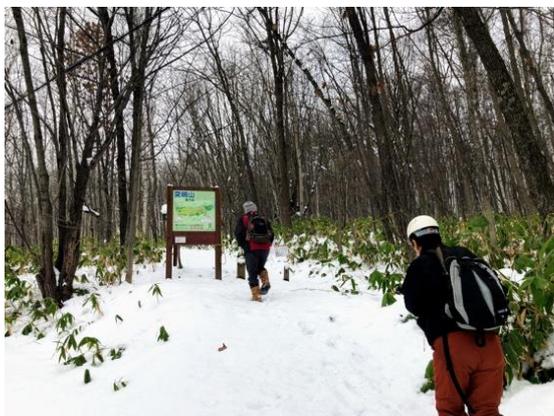
11月3日 芋煮会



11月12日 森林再生観察路、遊歩道整備



11月26日 ヒグマ足跡調査



12月3日 ヒグマ足跡調査

### ③突哨山現地検討会の報告

#### 別紙1 参照

- 山本 現地検討会の後に草刈り作業を実施して今は遊歩道は開いている。頂上に関しては今日お話をさせていただこうということで手は付けていません。復元観察路の方も道を付け直しています。
- 出羽 頂上への直登コースは非常に距離が短い。これに関して何か意見はありますか。現地検討会では直登コースを付けた方がいいのではないかという意見が多かったと思う。市の方としては何か意見がありますか。
- 矢萩 実際に歩いたが距離も短く特に危険な箇所もないので頂上に行きやすい道があればいいのではないのでしょうか。
- 出羽 直登コースを作るということでよろしいですか。植生を痛めるということもここではほとんどないと思います。
- 山本 来年の花時が終わってからでいいのでしょうか。
- 出羽 では来年の花時が終わってから現地を見ながら道をつけることにします。
- 舟橋 頂上付近は少し広く笹を刈ってもらえれば休憩場として使えるのではないのでしょうか。小さな団体ぐらいなら休めると思う。他に休憩できるような場所がない。
- 出羽 頂上付近は笹刈りをしていますか。
- 中村 頂上付近の笹刈りはしていませんが普段から笹は少ない場所です。頂上へ通じる道は毎年笹刈りをしています。
- 山本 道を付けた時に植生の様子を見てどの程度の広さを使えるかを見ます。
- 出羽 頂上は結構な広さがある。もともとここは笹が少ないのはなぜだろうか。
- 舟橋 もともと頂上へ直登する場所には笹が多かったと思う。今回たまたま笹が枯れ、直登しやすい形になった。
- 出羽 広場の確保は来年現地を見ながら考えましょう。
- 山本 呼び方として「元頂上」「新頂上」と言わず、ただ「頂上」でいいのでしょうか。
- 出羽 ただ「頂上」でいいと思う。何か説明するときは二つの頂上があって面白いと思う。

#### ④ヒグマ行動と痕跡データの年間まとめと分析

別紙2 参照

## 2. 協議事項

---

### ①ヒグマによる遊歩道閉鎖の解除について（意見交換）

- ・閉鎖解除とその時期について
- ・今後の対策

出羽 前回の会議でも議論になりましたが、この場は決める場ではありません。現状分析を踏まえて、それぞれの意見を出して欲しいと思います。方向性が決まってくればそれでよし、方向性が決まらなくてもそれを踏まえて市の方でどうするか判断する。どなたからでも意見はありますか。

工藤（和） 時々片山（牧場）さんが爆竹を鳴らしているが、あれは効果があるんですか。

山本 時々なら効果はあります。

黒川 あれは熊ではなく鹿のために鳴らしている。

山本 定期的に鳴らすと慣れます。たまに人間がやると驚くが、その時に熊がいないと効かない。もし熊がいるとか気配がある時に鳴らすのは今の所有効。ただし、最近鹿打ちの人が増えているので鉄砲の音が好きな熊も増えている。今のクマにとっては自分の被害ではなく死んだ鹿を置いて行ってくれる。花火の音が嫌いだろうと思っているのは人間の思い込みです。

出羽 片山さんは鹿対策でやっているのか。それとも熊ですか。

黒川 鹿の姿が見えたらやる。畑が荒らされるから。

桐 ヒグマの資料で右と左の（写真の）熊は違うと言われたが、左端の熊は首のところに白い線がある。右端は背中に白い線がある。

山本 これは写真の関係です。

桐 違う熊かと思った。

山本 写真の都合です。

出羽 質問ですが、ヒグマ資料の最初に個体識別3組4頭とある。突哨山に最初に現れた中型と小型とカボチャ好きの2頭と別個体と判断したということですか。

山本 別個体です。

出羽 3組とはどういうことですか。カボチャの方が1組ということですか。

- 山本 そうです。4頭というと話がややこしくなるので1頭も1組と数えて3組4頭。
- 出羽 ということではいかがでしょうか。突哨山と身近な自然を考える会は5月3日にカタクリフォーラムをやるかやらないか迷ったが、その前に熊の情報が出て一時入山禁止になった。ところが歩いてみて高速道路を超えた気配もなく、いないのではないかとということで2日に開けて3日に無事に実施できました。秋の芋煮会は11月3日だったが、この時は入れないということでキトウシを歩いて非常に素晴らしかった。来年どうなるかと思っています。できればカタクリフォーラムをやりたいと思っています。皆さん自由に意見を出していただきたい。
- 澤田 このあいだ比布町の担当の篠原さんと話をしました。跨道橋が一つの通り道だから可動式の柵を作れないか相談しました。そういうものができれば少しでも熊が来なくなればと思っています。
- 山本 電気柵を設置して人間が通るときは外して閉めて行くというのは簡単に作れます。提案はしています。物理的に止めるのではなく電気柵をする。あそこであれば太陽電池を使う。値段的にも5万円ぐらいでできます。
- 澤田 その辺をもう少しきちんと話をしたい。
- 山本 ただし、あそこを止めた時に、熊が本当に行きたい場合、高速道路を越すということが出てきます。とても社会的には面倒なことです。ネクスコとも話をしています。橋自体の管理者は町。そこを通る地主さんも全部かかっています。篠原さんに調べてもらいました。通っている車も調べて関係者も分かっています。段取りは秋に全部やりました。
- 澤田 その辺をもう少し正式にというか、きちんと要望できるのならしたい。
- 山本 問題はむしろネクスコの関係かもしれません。
- 澤田 熊は学習するということで、資料の写真にあるようにアリを目当てに来年も来るようであれば（遊歩道の丸太を）外してしまった方がいいんでしょうか。
- 山本 山の中に倒木がたくさんあるので、ここを外しても同じだと思います。
- 澤田 あその場所に来て欲しくない。
- 山本 それは有効かもしれません。
- 桐 （12月）3日にびびの路を牧場跡まで行って来ました。雪が降ったら足跡がわかるかと思って。キツネと何か分からない足跡があった。初めて見たので分からなかったが熊の足跡はなかった。

山本 エゾクロテンはいました。サイズはキツネに似ているが付き方が全然違います。

桐 じゃあそれではない。

工藤（和） 北海道の中で国立公園ではないが、公園の中で熊による事件というのはありますか。

山本 人身被害とかはありません。熊が出て閉鎖とかというのは札幌滝野ずらん公園や定山溪自然の村とか。札幌近郊は最近は熊対策をして開けるという風になってきています。丸瀬布の雨宮号が走っているあたりでは、当初は知らせないでこっそり対策していたが限界にきて、居ます気をつけてくださいとなった。雨宮号が走るところ全部を電柵で囲っています。川があるので川を越さないよう水面にやって、非常にガッチリと守っています。

出羽 嵐山も2009年から情報があります。姿は見えていない。はっきり情報があったときは一部入山禁止にしました。その後情報が途絶えて期間を空けて待つて開ける。

山本 情報がなくなったらいいよというのはあてにならない。

舟橋 旭山にも出ているのか。

山本 出ています。

村形 旭山は公園のすぐ外側と聞いています。

工藤（和） 来年は場所を限定してでも開けるという風に考えていますか。

出羽 そういうことも考えられます。

山本 それは皆さんで考えていただきたいです。

工藤（和） というのは近くでギャラリーをやっていて1月ぐらいから宣伝を始めるんです。山も含めて宣伝できるのか、それとも宣伝しない方がいいのか。1月ぐらいに結論が出ないと印刷物も関係します。部分的に開けるなら部分的に開けるで説明ができますが。去年は山も行けますよと言っていたが熊が出たのでダメになった。

村形 公園みどり課ですが、この度は春からみなさんにご迷惑をおかけしています。目撃情報があって、もりねっとさんなどいろいろな方と情報を共有して、開けるタイミングは狙っていたが痕跡があったりカメラに写ったり、もうそろそろいいかなと思った時にまた出てしまうという状況でここまで来たというのがこれまで。11月26日と12月3日に調査していただいてやっと痕跡がないという状態に今なったので、開けるとすればこの辺がタイミングかなと考えています。それは他の公園でもそういう風にやっています。嵐山の話が出ましたが、西神楽の公園でも出たことがあります。痕跡調査をして、（痕跡が）なかったので開ける。た

だ、注意喚起しながら開けるとというのがこれまでの公園のスタンスでやってきました。突哨山の今回の件に関しては春からそのチャンスが結果的にはなかった。今そのチャンスをどう捉えるかというのが自分たちの考えているところです。考えようによっては12月16日に間伐体験も控えているます。そこだけ限定的に開けるのか、そのタイミングで開けて春先の調査もしつつ注意喚起もしつつですが、そういう選択ができるのか、その辺の意見を伺っておきたいです。

出羽 その辺は今回の冬季と来春以降と分けて考えた方がいい。

工藤（稔） 完全に冬眠しているんですか。

山本 今時点ではまだです。雪が積もっていないので。

出羽 もう一つ考えておかなければならないのは、佐藤さんが前回言った、熊がもともといる広い森林ではなく誰でも入れる公園という場所だということも押さえておく必要がある。

村形 公園だから早く閉めたというのもあります。都市公園ということもあり、来られる方も気軽に来られています。皆さんもご存知だと思いますが、そういうスタンスで閉めると判断したというのがあります。

出羽 コウモリ観察会を毎年夜にやっている。夜となると恐怖感がある。

工藤（和） 男山自然公園は誰に聞いて即座に閉めたんですか。

村形 男山自然公園には環境部を通じて情報が行っています。情報元はネクスコからの通報で、同じように男山自然公園にも連絡をして閉めました。先ほども話が出ましたが、カタクリフォーラムの前に一旦調べましたが（痕跡が）出なかったので、そこで開けようという判断ができたがその後またすぐ出てしまった。

工藤（和） 男山自然公園と連動しているということですか。

村形 連絡はしています。それとは別に比布町役場との連携も取らなければいけない。こっちが開ければ比布側も開けなければいけない。その辺の調整は取らなければいけない。16日の間伐体験はどのようにしてやるイメージですか。

舟橋 開けたらいいのではないか。もう何ヶ月かしかないのだから開放するべき。注意喚起はして。いつまでも開けられない。

出羽 冬季と来春以降を区別して考えるべきだ。

山本 間伐体験に関しては一般開放と違います。我々がセットで前後を固めて歩く。行動もばらけない。子供が走るとか、おしっこしたいから藪に行くとかはなしということちゃんと言って、スタッフの目の届く範囲で行動してもらおう。基本的に熊は複数人間がいるところへ突っ込んできて人を殺めたケースは明治150年でゼロ。バラバラになった時にやら

れています。人が固まっていたらそれだけで十分安全。集団行動であれば、人間を食べたいと思っている熊ではないので問題はない。一般解放で都市公園として、熊のいる登山道ではない場所なので、その辺を意識していない人が来た時に熊がいること自体のリスクをどう見るかということとの兼ね合いだと思います。今までだっているかもしれないけど、いないと思っていただけかもしれない。

工藤（和） 熊がいるかもしれないが、いないかもしれないという時に熊出没注意の看板は出すものなんですか。

村形 以前環境部で置いた看板は撤去しましたが、立ち入り禁止状態にはしています。

山本 環境部と土木部公園みどり課ではスタンスが違ってきます。環境部は熊全般。それが危険な熊であるかどうか。いるかないかではない。土木部の場合はいるかないかでコースを閉めます。いるだけで都市公園だから閉めます。環境部の場合いるというのは、道の基準で言うとステージ0から4まで5段階あります。0だったら注意喚起でどうぞお入りください。環境部の看板は熊注意なだけで入るなどはどこにも書いていません。ただしその横に土木部ともりねっとで熊がいるので入らないでくださいとしています。突哨山では二段構えです。

工藤（和） ニュアンスが難しいですね。入り口に黄色い看板で熊出没注意と書いてあったらなかなか入る気にはなれない。

村形 これからは開けたとしても何かしらの喚起はしなければならないと考えています。

山本 西神楽などの林道の入り口に熊出没注意とあります。それは環境部の看板で、入るなどはどこにも書いていないし、みんなそれで入れるんです。

澤田 突哨山としては8月21日のぴぴの路で熊の痕跡は無くなっています。今回2日間の調査でもなかった。このことが大事かなと思う。私の頭の中ではないかと思っています。閉鎖を解除しても大丈夫だと私は思う。春の段階でまた調査をして状況によってはまた閉鎖になるかもしれないが、いまはもういないんだろうと思う。そういう判断はできないんでしょうか。いないと思うが注意しなさいということ。

佐藤 前回の会議の時に晩秋の雪がある状態で足跡を見るのが確実だと、そして春の雪解けの時に足跡を見るのが確実だと、足跡がなければいないと判断して大丈夫だろうと話がありました。

山本 春まで見なければ判断できないと言うわけではないです。今の時点でもいないだろうと言えます。春はカタクリの時期で人が多く入るので、そ

れに備えて確実にもう一回やるということです。今の時点でもいないとは言いきれないが、澤田さんがおっしゃったように8月以降痕跡が途絶えています。その間ダラダラ何を待っていると言われるが、その間熊の移動というのがあるので、それを立証することは難しいので、冬まで待ってくださいと。雪が降り痕跡が残る状態でチェックしたので、そこは秋の判断が雪の上でもう一度上書きされた。ただ来春来る来ないに関しては全く保証の限りではありません。

出羽 寺島さんは熊のいる山にしょっちゅうこれまで行っていたと思いますが。

寺島 いるのが当たり前と思っている。

出羽 黒川さんと森木さん農家の立場から見てどんな印象を持地ますか。比布では農地にも出てきています。

黒川 片山さんのところに一度出た。

山本 あれが続けばまずい。おそらく遊びにきただけだと思います。

出羽 農地は閉鎖するとういうことにはならない。

澤田 比布は昨年パークゴルフ場に出たけれども今年は全くないです。

出羽 昔はピップの市街地に出た。そろそろ時間なので他に意見はありますか。

佐藤 人が入ると熊も警戒する習性があるのであれば、この状態であれば、前回の会議の話の流れで、実際にいないであろうと思われるので、開けて人が入ったほうが熊もいなくなると思います。入り口で、熊がいついつ出没したので気をつけてくださいと注意喚起して、一人で入らないようにしてくださいとか。

澤田 私は常に山に入るときには鈴はつけている。

出羽 あとは比布町と市の方で判断していただくということで。

村形 比布町雨あもりねっとさんと協議しながら管理の仕方とオープンのタイミングを判断したいと思います。

出羽 よろしく願います。

## ②突哨山活動記録誌について

現在までの進捗状況と今後の進め方

別紙参照

出羽 原稿を依頼され提出のない方には直接連絡します。来年に向けて作っていきたいと思います。

## 3. 連絡事項

---

12月16日 突哨山間伐体験～クリスマスツリーのおすそ分け～（もりね  
っと）（予定）

2月12日 近文第二小学校1、2年生突哨山活動（予定）

3月 初旬 第4回協議会

山本 16日は最終的に公園みどり課との相談になるが我々が責任をもってガードするので。

出羽 もし開けるとすれば一般開放するということですか。

山本 それは市の方で判断します。これを持って全面オープンなのか、来春からなのか。

村形 タイミングが合わなくてイベントだけやるとすれば指定管理者の管理のもと限定的に開けるか全面オープンか、それも含めて判断します。

山本 冬にスキーで歩く方もいます。

寺島 時間の制限はつけておいたほうがいいかもしれません。朝夕など。

山本 そういうほうが気をつけなきゃと思っていいかもしれない。

村形 冬も朝夕注意というのは変わらないんですか。

山本 薄暗い時間帯は注意が必要です。

以上